

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	調査員からの提言より「地域包括支援センター等の職員がメンバーとなり、入所判定会議を開催されているとのことでしたが、利用者の入所に関わる情報を共有したり、決定に関わることができるように、ホームの管理者の他に、職員も会議に参加できるような取り組みも検討されてはいかがでしょうか。」	施設長及び2ユニットの管理者が入所判定会議に出席し、関係機関の皆様にホームの現状を知ってもらった上で、より良いグループホームの運営に繋がるように、情報共有を図る。	事前の情報提供については、今までは待機者の情報のみだったが、今後は、ホーム全体的様子(寝たきりの方が何人等)やホームの課題等も合わせて情報提供し、管理者間や関係機関との意思疎通を深め、利用者のより良い生活を支援できるようにする。	3～12か月
2	33	調査員からの提言より「利用者の重度化や終末期の対応について指針を掲げておりましたが、まだ実際に看取りを行ったことはないということでしたので、職員の研修で看取りに関する事も定期的に取り上げる等、職員が不安なく対応できるような取り組みも検討されてはいかがでしょうか。」	経験のある講師を招き、定期的に看取りについての研修を開催する。	当グループ関連、近隣施設において、看取りの経験豊かな介護・看護職員に、経験談と共に、職員の気持ちやエピソードを教えていただけるように依頼する。	6～12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。